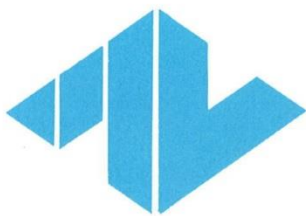


水と緑に囲まれた
 織物と学園のまち——都留
 この地に人は集い
 やすらかな暮らしを営む



〔市章〕

「都留」の起源はむかし、富士の裾野を蔓ののびた様子に想像し、「連葛」とか「豆葛」などと書かれ、また和銅年間の書には「鶴」とも書かれていた。鶴が多く棲息していたこの地に緑をとって「都留」と名付けた。

市章は、カナ文字、ツルの二字を形どって図案化した。



市の花

〔梅〕うめ

早春に香り高い花を開く梅は、昔から庭木や盆栽として観賞されてきました。市内には果実栽培の梅林も散在します。五弁の花は、5ヵ町村の合併で誕生した都留市を象徴しています。



市の木

〔赤松〕あかまつ

常緑樹の赤松は、めでたい門松に飾られ、建築材に活用されます。市内で赤松は森林面積の約3分の1を占め、自然景観を豊かにしています。

直立した幹と、四方へ末広がり枝は、市の発展を象徴するかのようです。



市の鳥

〔鶯〕うぐいす

緑の木々や渓谷を縫って流れる清流など、市の周辺は自然環境に恵まれています。早春から初夏にかけて最も多く聞ける鶯の鳴き声には、やすらぎを感じます。鶯は、自然に恵まれた平和な都市を象徴しています。



発行日／平成元年4月29日

発行／都留市

編集／都留市役所庶務課

都留市立図書館



30125946-9

制作／(株)きょうせい